輝 < 女 性 の 活 動 を 紹 介 し ま す

## 躍する公然的 のさんのがって

心をゆるめて、わたしらしく生きる』

の意志で「関わりたい」「自分を活かしたい」と応 た。 想いを温めていたところ、ご縁があって、つがやす まうのは、とても残念だと感じていました。 時 り方を学ぶ講座です。 所にママの居場所があったらいいな」「その地域に ています。 えてくれ、 歯科医院で会場を提供してくださることになり、 な」という思いから始めた、 ママがママをサポートする場と、仲間があるといい (ママサポ講座)」を修了した数人の女性と運営し 「おかあさんのがっこう」のスタートを決めまし ・トした「ママの心をサポートするママを育む講座 「おかあさんのための学校を創りたい」という また、 9人のメンバーの個性とつながりが終わってし おかあさんのがっこう」 開校に至りました。 ママサポ0期のメンバーも、 ママサポ講座は、 ママサポ講座0期が終了した 誰かをサポートする在 は、 「十勝管内の様々な場 2017年にスタ 全員が自ら 同時

知識を深めることもあれば、 て欲しい知識を『授業』としてお話ししています。 しらしさを見つける過程」について話すこともあり おかあさんのがっこう」では、 講師をお招きして、 運営メンバーが 健康や生活に役立つ ママに知ってい 「わた

> け、 ます。 て活動しています。 ひとりの個性を尊重し、 けることや、ママ達が地域の人たちとつながり、 社会へつながるステップにしてもらいたいと願っ 授業を通して、「わたしらしい生き方」を見つ 自ら考え行動できる力をつ 人

ています。 思います。そんなママの笑顔が子どもやパパへ伝わ 失うことがなく、 いを認めることができ、 は他の子と比べることがなければ、 トロールしようとしたことがありました。 私自身、かつて良いママになろうと、子どもをコン 家庭が笑顔になり、 子どもの個性を尊重することで、 社会にも広がっていくと信じ ママが心地よく生きられると 自分の子育てを見 でも、 本当



んからのメッセ-を取り戻す ワードは、 『調和』『自主性』 かあさんのがっこう 切にしていることです

詳細は、

帯広市のホー

ムペ

ージ

女性情報コー

授業後は、ママ達でディスカッションを。 初対面の方同士も会話が弾みます

『おかあさんのがっ 毎月2回開催 午前 10 時半~12 時半 500円







※貸出しは1人1回3冊までです。 ※2週間以内に返却して



からご覧いただけます

なくて…」そんな一冊がありま になる」「図書館には置いて ぜひお気軽にご利用く ナーについての

ださい。

したら、

令和元年9月

3 発行 :帯広市 :帯広市男女共同参画推進員 ●発 ●発 行:●企画編集:

も読みたい本をリクエストする

箱」を設置しており、

どなたで

ことができます。

「あの本が

伊藤 容子・浦端 昭道・遠藤 妙子・川尻れえ子 品田 裕子・田沼 誠子・沼田 秀実

同参画に関する図書や資料の閲

覧や貸し出しをしています。

の4月からは「リクエスト

性情報コーナー』

では、

男女共

とかちプラザ1階にある

<sup>□</sup>女

女性情報コーナー

からのお知らせ

当意思をお待ちしております I 〒08<mark>0−867</mark>0 帯広市役所 男女共同参画推進課 帯広市西 5 条南 7 丁目 1 0155-65-4134 FAX 0155-23-0171 電子メール danjyo@city.obihiro.hokkaido.jp